

イソシギ

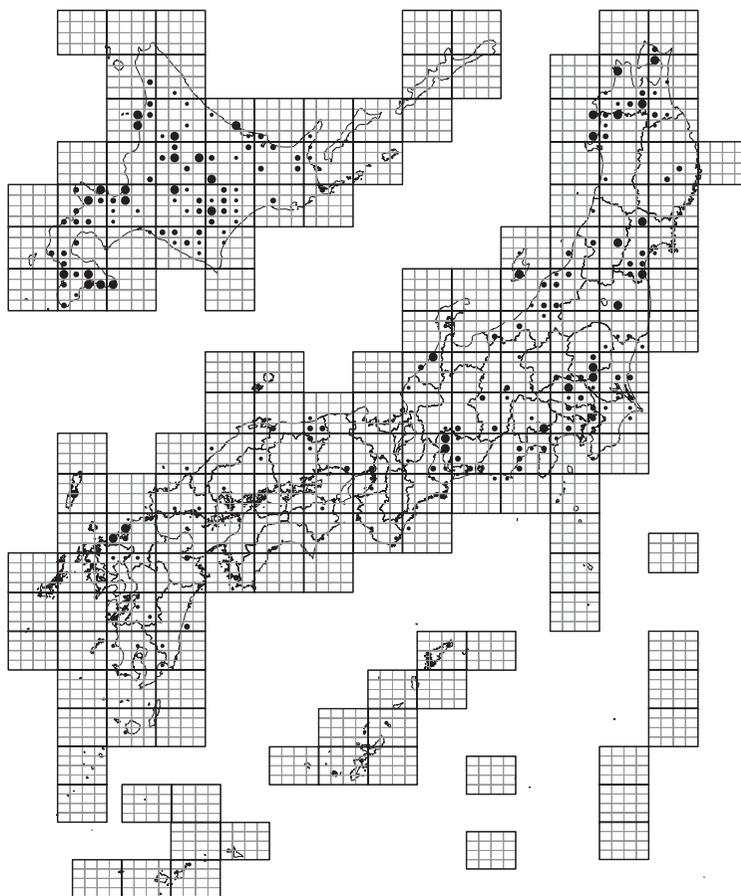
(分類) チドリ目シギ科 *Actitis hypoleucos*

(環境省 RDB 種) -

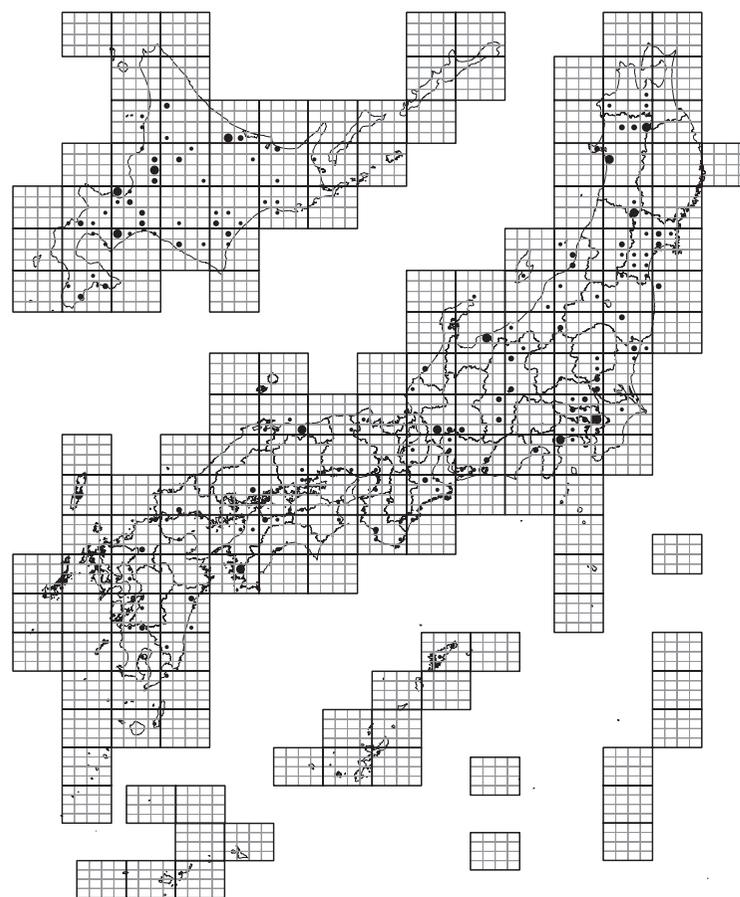
(分布) 全国で繁殖。東北以北のものは南へ移動して越冬。ユーラシア、アフリカ、オーストラリアに広く分布。

(生態) 海岸から淡水までの水辺に生息し、水生昆虫の幼虫などを食べる。地上に営巣する。4月から3~4卵を雌雄交代で23日前後抱卵する。ヒナは半日から2日くらいの間に巣を離れ、約1か月で独立する。

1974年—1978年 メッシュ数 A = 38 B = 95 C = 113



1997年—2002年 メッシュ数 A = 13 B = 49 C = 115



ヤマシギ

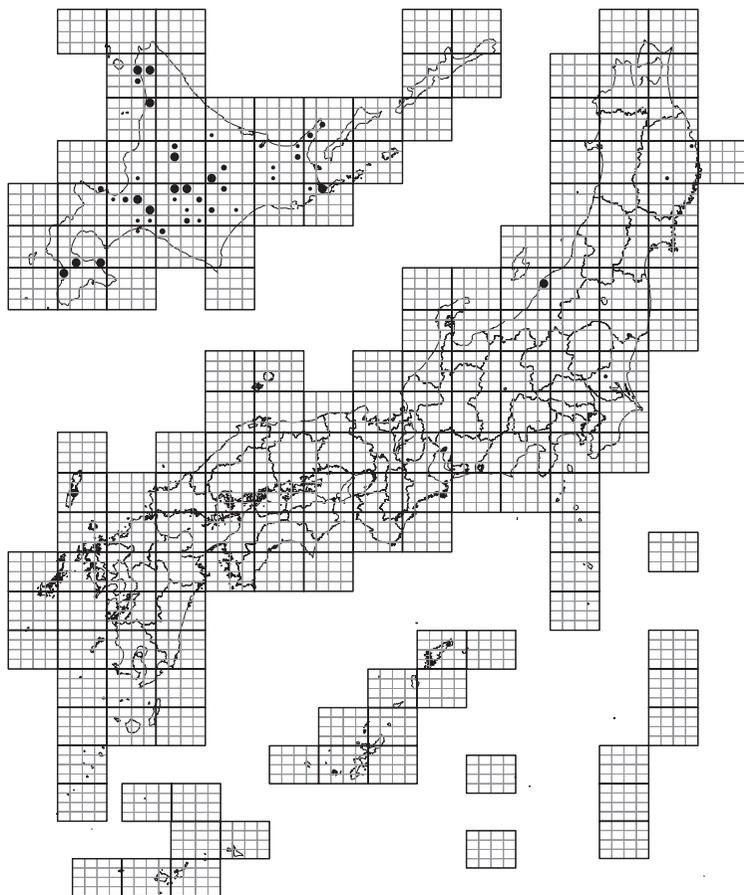
(分類) チドリ目シギ科 *Scolopax rusticola*

(環境省 RDB 種) -

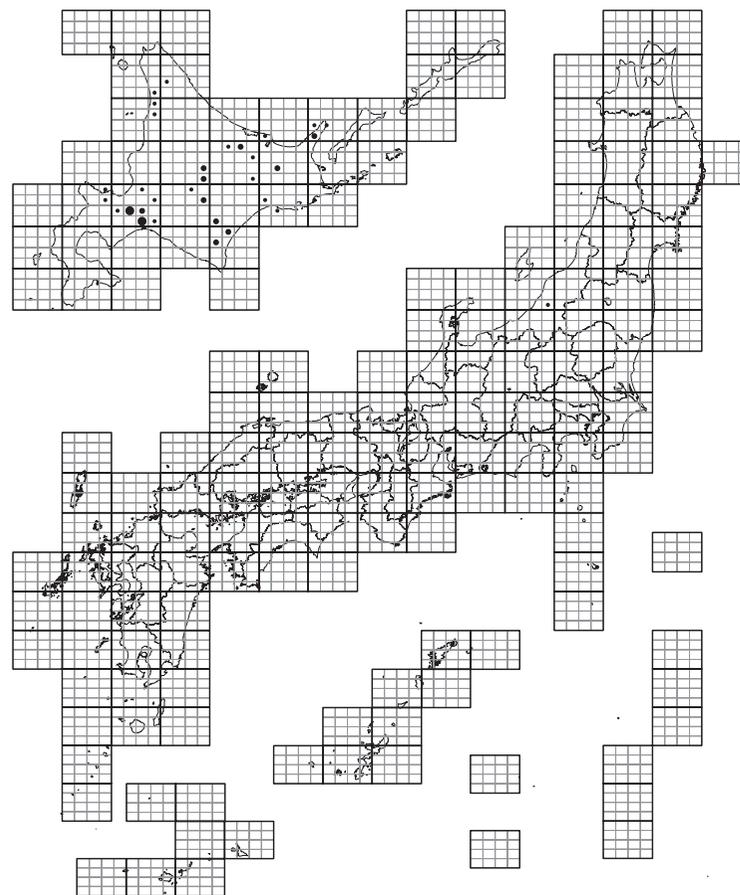
(分布) 本州中部以北、おもに北海道で繁殖。ほかの地域では冬鳥。ユーラシアの温帯で広く繁殖し、南部で越冬。

(生態) 森林に生息して、地上に営巣する。4卵を雌が23日前後抱卵して、ふ化後18日で巣立つ。ヒナは約6週間、親について歩く。湿った林床で昆虫やミミズなどの小動物を食べる。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 14 B = 13 C = 19



1997年－2002年 メッシュ数 A = 2 B = 10 C = 22



アマミヤマシギ

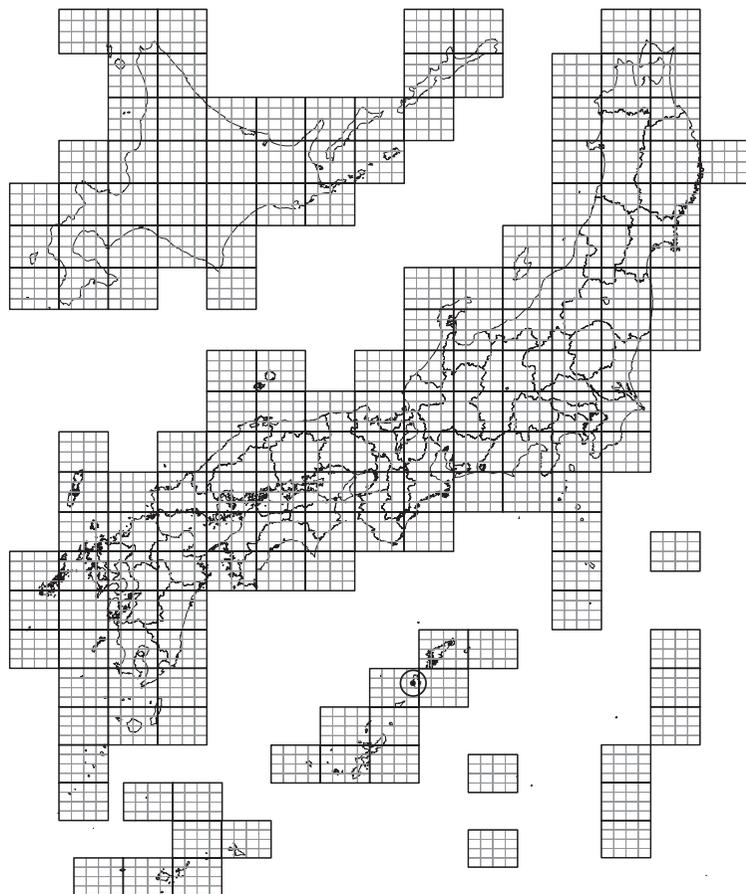
(分類) チドリ目シギ科 *Scolopax mira*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 B類

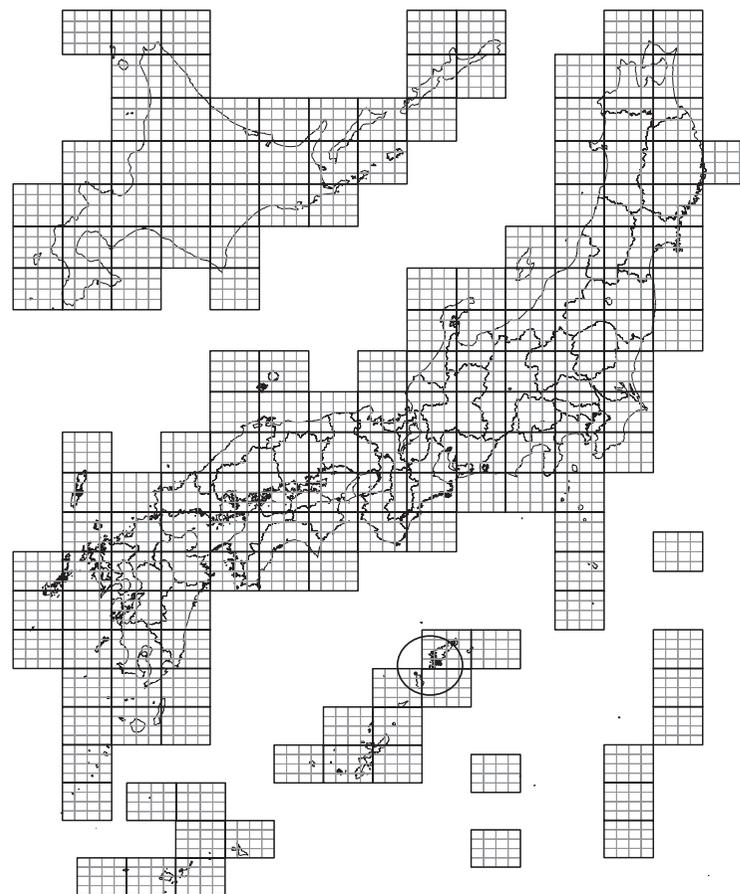
(分布) 奄美諸島で繁殖し、沖縄島北部にも少数が周年生息する、日本固有種。

(生態) 常緑広葉樹林を主体とした薄暗い森林に生息する。林内の地上に営巣し、2～4卵を産む。湿った林床で昆虫やミミズなどの小動物を食べ、日中は枝の上などにとまって休息する。個体数が減少しており、生息地破壊に加え、外来捕食者であるマングースやネコなどによる捕食の影響が指摘されている。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 0 B = 1 C = 0



1997年－2002年 メッシュ数 A = 0 B = 0 C = 2



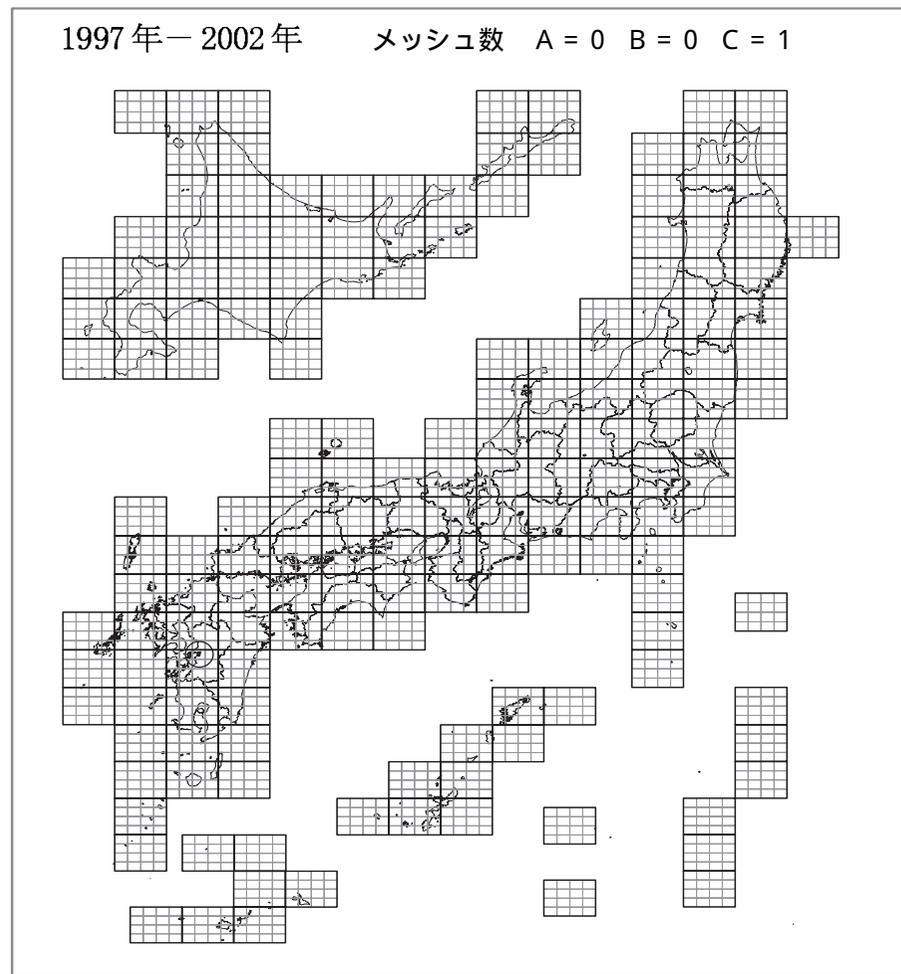
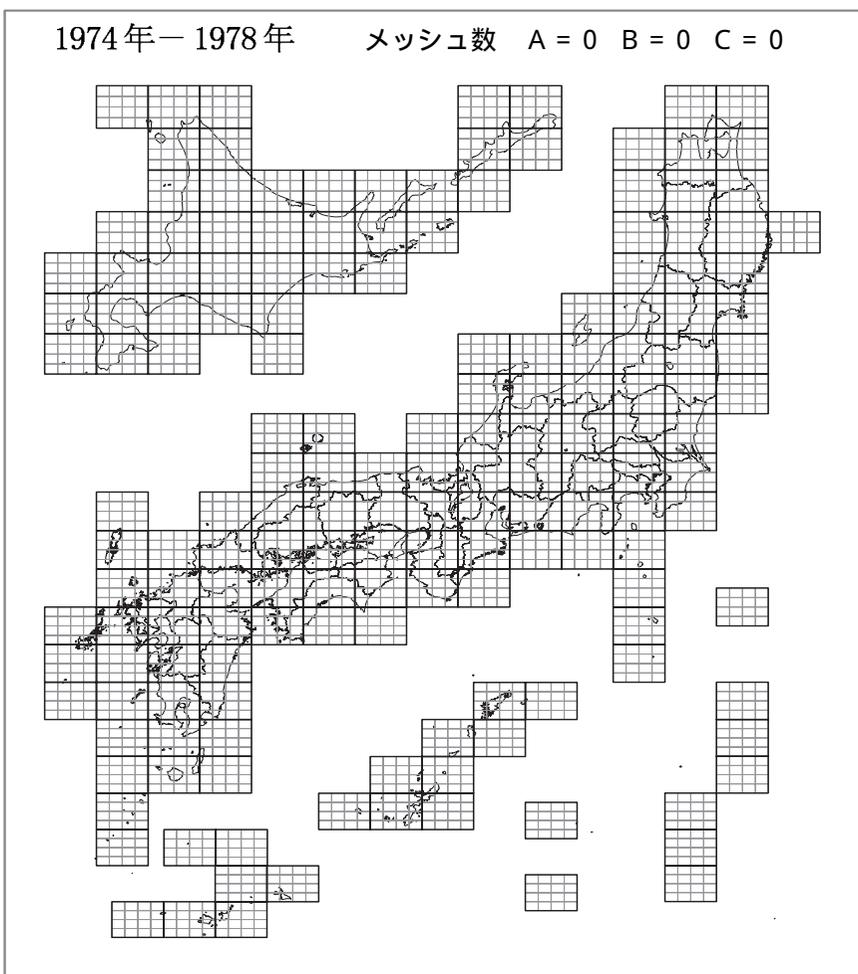
タシギ

(分類)チドリ目シギ科 *Gallinago gallinago*

(環境省RDB種) -

(分布)全国で旅鳥または本州中部以南で冬鳥。ユーラシア大陸、南北アメリカ大陸で繁殖。

(生態)干潟、水田、河川などの岸に生息している。4～7月に、地上の乾いた草陰や藪などの窪みに営巣し、3～4卵を産む。20日前後抱卵し、20日前後で巣立つ。湿地や浅水中で泥の中に嘴を刺し、ミミズ、昆虫の幼虫、小型の甲殻類を食べるほか、植物の種子を食べる。



オオジシギ

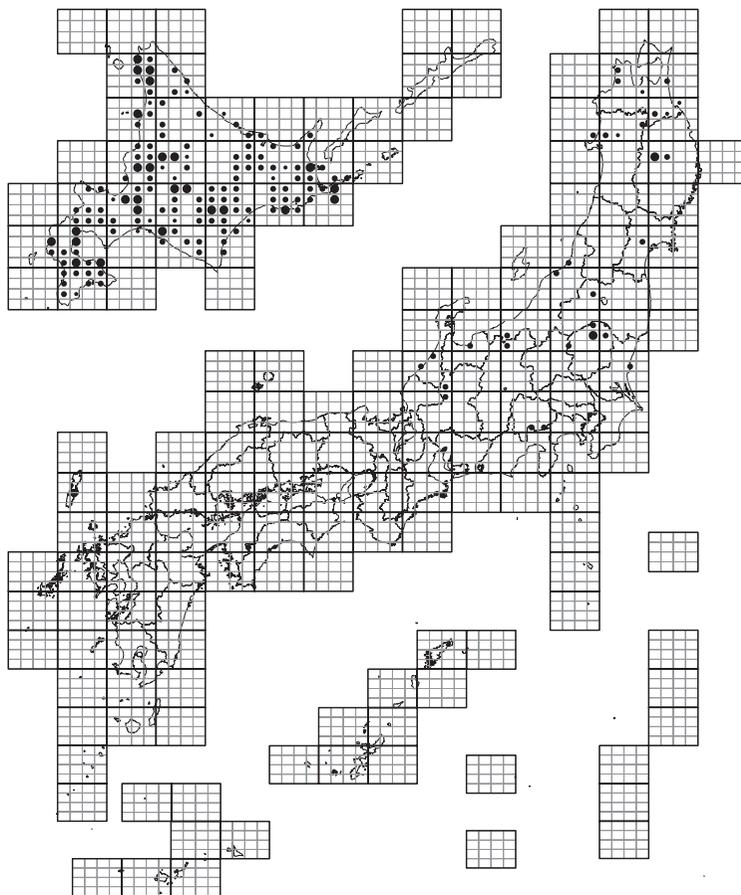
(分類) チドリ目シギ科 *Gallinago hardwickii*

(環境省RDB種) 準絶滅危惧

(分布) おもに本州中部以北で夏鳥。日本がおもな繁殖地で、オーストラリアで越冬。

(生態) 湿生草地や牧草地に生息。雄は特徴的な空中ディスプレイを行う。雌は地上に4卵を産み、抱卵、育雛する。地上でミミズや昆虫などをとる。越冬地のオーストラリアでは個体数が減少していると言われている。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 28 B = 128 C = 22



1997年－2002年 メッシュ数 A = 6 B = 144 C = 28

